

3月31日（日） ショートメッセージ

聖書 ヨハネによる福音書 20章1節～10節 （新約 209頁）

メッセージ 「イエスの復活を信じた」

それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。

（ヨハネによる福音書20章8節）

（1）イースターおめでとうございます。皆さまに復活の主による豊かな祝福がありますようお祈りいたします。

3月のメッセージは、ヨハネによる福音書に記されている、イエス様に対するピラトの尋問に始まり、イエス様の身柄の引き渡し、十字架、イエス様の死、そして埋葬と読み進めていきました。私はイエス様の最後の言葉、「成し遂げられた」がとても印象的でした。そして今朝の聖書は、イエス様が埋葬された後、安息日が開けた週の初めの日の早朝、暗いうちから始まります。

（2）早朝のまだ暗いうちに、イエス様の十字架の場にいたマグダラのマリアは、イエス様が納められている墓へ行きました。すると、墓の入り口を塞ぐ石が取りのけてあるのが見えました。彼女は早速、使徒のリーダーであるシモン・ペトロとイエス様の十字架のそばに居続けたイエス様の愛する弟子のもとに走って行きました。そして彼女は報告しました。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」（2節）

報告を聞いたペトロとイエス様の愛する弟子は、墓へと走って行きました。最初に墓に着いたのはイエス様の愛する弟子でした。彼は身をかがめて墓の中を見ました。すると、イエス様の遺体を包んだ亜麻布が墓の中に置いてあるのが見えました。彼がまだ中へ入る前にペトロも到着しました。墓の中にはペトロが最初に入りました。そこには亜麻布が置いてありました。しかし、

イエス様の頭を包んでいた覆いは、亜麻布から離れたところに丸めて置かれていました。ペトロに引き続いて墓の中に入ったのは、イエス様の愛する弟子でした。彼は空の墓の様子を見て、イエス様の復活を信じました。しかし、ヨハネ福音書はこう記しています。「イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである」（9節）

そして二人の弟子達は家に戻っていきましたが、マグダラのマリアはその場に残りました。

（3）早朝、三人の人が墓に行きました。この時、イエス様の復活を信じたのは、ひとりイエス様の愛する弟子だけでした。彼は墓の中に遺体がなかったことを見て、信じました。しかしその彼も、イエス様は死者の中から復活することになっていると言われたイエス様ご自身の言葉を理解したわけではありませんでした。

私たちはイエス様が復活されたことを知っています。空の墓がまさにイエス様が復活されたことの証拠であると考えましょう。

イエス様の復活、最初は三人のうちひとりしか信じることができませんでした。それが今では私たちを含め、膨大な数の人たちがイエス様の復活を信じています。かつておられ、今も生きておられる復活の主との出会いが、ひとりひとりに与えられますようお祈りいたします。（多田玲一牧師）